

**道路の将来ビジョン（案）に関する  
県民パブリックコメント意見募集の結果と県の考え方**

No.	意見	意見に対する県の考え方
1	舞鶴自動車道の4車線化は急務だと思う。淡路地震のような時の迂回路（交通路）として重要。	国土軸を形成し、県土の骨格となる広域ネットワークを構築するため、ミッシングリンクとなっている中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期開通や舞鶴若狭自動車道の4車線化を推進します。
2	<p>コロナの影響で公共交通機関の利用が憚られるなかで、車での移動は今後さらに増えていくと予想されます。</p> <p>中部縦貫自動車道が開通することで、岐阜や愛知方面への往来がしやすくなると思う。開通によって福井に来る観光客が増え、福井の魅力を知らせてもらえたらいいなと思う。</p>	<p>北陸新幹線の福井・敦賀開業や大阪までの延伸、中部縦貫自動車道の全線開通など、大交流化を推し進めるチャンスを迎え、市場開拓・販路拡大など産業経済の活性化や県内外からの観光誘客など観光振興につながる道づくりを推進します。</p> <p>観光地等を結ぶ道路や広域周遊観光ルートを形成する道路の整備を促進するとともに、観光地への道路標識や観光案内標識を設置し、はじめて訪れた人にもわかりやすい観光アクセスを確保します。</p>
3	北陸新幹線の延伸や中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通によってさらに、強固かつ柔軟な交通ネットワークが構築されることを期待しています。	（基本方針1、2）
4	北陸新幹線開通で観光客がより増加することが期待されるので、安心して不自由のない県内の移動が求められると思う。	
5	渋滞箇所の対策は必要。紹介されている福井森田丸岡線は急務だと思う。ただ、完成後は市内における渋滞が心配。また、裏道への通行が増え、交通事故が多発する可能性が心配。	<p>通勤・通学・買い物などに利用され、地域間の交流連携を強化する幹線道路を整備し、道路ネットワークの充実とともに、幹線道路の渋滞を緩和するため、右折レーンの設置や4車線化によるボトルネックの解消など交通の円滑化を図ります。</p> <p style="text-align: right;">（基本方針2、3）</p>
6	嶺北の話になるが、南北の移動が弱いと感じる。出勤時、帰宅時には頻繁に渋滞が発生している。全国でもトップレベルの車社会であるため、より重要視されるべき課題ではないかと考える。予算などの制約がある中で、最大限に効果を発揮するためにも、頻繁に渋滞の発生する箇所の特特定、車を分散させるようなネットワークが必要であると感じる。	

No.	意見	意見に対する県の考え方
7	安全・安心・快適な道路交通・環境づくりをお願いします。	生活空間における道路の安全、安心を確保し、住みやすい環境基盤を整備します。  (基本方針3)
8	他県に比べ福井県は日常生活において車に乗って移動することが多い中で歩道の整備・道路の改良を進め、交通弱者の事故が減ることを望む。	通学路や交通量の多い危険な箇所を中心に歩道整備を進めるとともに、身近な生活道路において、歩行空間を明示するためのカラー舗装や防護柵の設置など、安心して暮らすことができる基盤整備を推進します。  (基本方針3)
9	人通りの多い道路でも歩道がなく線で区切られているだけの道路をよく見かける。通学路や事故が多い道路には優先的に歩道を設置してほしい。	
10	福井県の道路の最大の課題は、雪に対する備えだと思う。 福井市では、H31、R3年の豪雪時に交通渋滞で大変な思いをした。越前市では、融雪装置が完備されており、豪雪に強いイメージがある。 ビジョンを策定する上で、越前市の整備状況が参考になると思う。	冬期における安全で円滑な交通を確保するため、除雪体制を充実するとともに、家屋が密集している区間や急な坂道等の必要な箇所において、消雪施設を整備し、雪に強い道づくりを進めていきます。  (基本方針3)
11	自宅の周辺の道路には、消融雪設備が整っておらず、少量の雪が積もっただけで大変不便なことや危険を感じる人が多い。同じ福井県内でも消融雪設備が整っていて不便を感じる人が少ないエリアも多い。主要道路につながる県道、市道の消融雪設備の範囲を広げていただきたい。	
12	車を使わないという選択ができるよう、鉄道の走らせる時間の最適化、鉄道からバスへの乗り換えをスムーズに行い速達化するなど公共交通機関を充実すべきではないか。	鉄道駅や道の駅などを拠点とした公共交通ネットワークを強化し、自動車に頼らずに目的地まで移動できるよう、公共交通機関の利便性の向上を図ります。  (基本方針3)
13	観光客を増やすということでも公共交通の発達は不可欠だと思う。 自動車と公共交通のバランスを考える必要があると思う。	

No.	意見	意見に対する県の考え方
14	<p>近年、災害時の渋滞が目立つ。大雪により道路が不通になることや交通マヒは今後も対策が必要であると感じる。</p> <p>融雪の完了している道路の可視化により、スタックなどによる渋滞を減らせるのではないかと。</p>	<p>SNSや地域一斉メール等多様な手段で道路利用者と情報共有を図るとともに、通行規制や雨量情報、冬期における積雪情報や路面状況など道路に関する情報を、一元化して発信します。</p> <p>融雪完了路線含め除雪完了路線の見える化については、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>(基本方針4)</p>
15	<p>今回のような豪雪の場合、降雪の状況により通常の体制は困難だと思う。</p> <p>人、機械、その他設備を含む体制が必要である。行政の縦割りで無く、国、県、市町、民間を有効に組み合わせた体制が必要かと思う。</p>	<p>短期集中的な大雪に対応できるよう除雪機械の広域応援など除雪体制を強化します。</p> <p>(基本方針4)</p>
16	<p>大雪時に家の前の生活道路や歩道の除雪が長引くので、その対策もあると良いと思う。</p>	
17	<p>暮らし、産業・観光、交流等様々なビジョンから2040年の将来像を考えるとすることはよく分かった。</p> <p>様々なビジョンにそれぞれ着手することはとても重要だが、県民としては段階・優先順位をもう少し具体的に分かりやすく明示されると、これからの道路の将来ビジョンにより期待できると思う。</p>	<p>5つの基本方針は、いずれも重要なものであり、並列して取り組む必要があると考えています。</p> <p>ビジョンに基づく個別の事業については、来年度(令和3年度)に、今後10年間の事業の見通しを示す「道路整備プログラム」の策定を予定しており、効率的、経済的な事業展開に努めていきます。</p>
18	<p>主要地方道篠尾勝山線未開通区間の道路整備について、未だに未開通(通行不能)区間が残っている。道路交通網のネットワーク構築上・広域連携・観光・災害時等の輸送道路等としても当路線は必要な道路として何らかの整備が必要と考える。</p>	<p>個別の路線については、地域の実情を考慮しながら、重要度や必要性を踏まえ、適切な事業評価を行い事業を進めていくこととしています。</p>

No.	意見	意見に対する県の考え方
19	<p>福井は信号のない横断歩道での車の停止率が全国でも特に低いそうです。運転手の良心に任せるだけでなく、道路を工夫することも必要なのではないかと。</p> <p>停止しない理由としてよく聞くのは、後続車に気を遣う、道路の構造上渡ろうとしている人に気づきにくいといった内容です。押しボタン式信号の設置や、見通しの良い道路(カーブや高低差を減らす)にすることで改善される可能性があるのではないかと。</p>	<p>押しボタン式信号の設置については、警察の所管であり協議が必要となります。</p> <p>道路構造の面からも交通安全の確保につながる道路整備に努めていきます。</p>
20	<p>サイクリングコースについて、維持管理がされていなくて草等が繁茂して利用出来ない区間が多い。また、途中で車道を走る区間もあり危険である。</p>	<p>サイクリングコースのネットワーク化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。</p>
21	<p>照明（特にトンネル照明）については、LED化の推進が急務だと思う。</p>	<p>照明等のLED化については、順次進めていきます。</p>
22	<p>降雪量が多いと予想されるとき、今冬は計画除雪や通行止めを国道、高速道路で行っていましたが、その影響により県道、市道に迂回する車が多く、各々の場所で渋滞が起きていた。</p> <p>各道路管理者に対して渋滞等が発生しないように県としての働きかけ・要請等はないのか。</p>	<p>予防的通行止を実施する場合は、道路利用者や物流事業者に対する事前の広報や要請、除雪体制の強化などにより、最短時間の通行止時間となるよう国や高速道路会社に要請しています。</p>